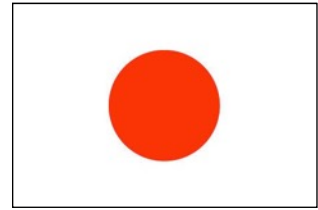




# ウガ広報



From Uganda | To Japan | Ono Kenta Menya

皆さんこんにちは！平成27年度1次隊の理科教育でアフリカのウガンダに派遣されています、小野健太です。秋田ではそろそろ気温が下がって過ごしやすくなった頃でしょうか？ウガンダは今年2回目の雨季に入ろうとしており、朝晩は涼しくて過ごしやすいです。さて、今回はナムトゥンバにおける水事情やそれにまつわる衛生環境などについて紹介していきたいと思ひます。

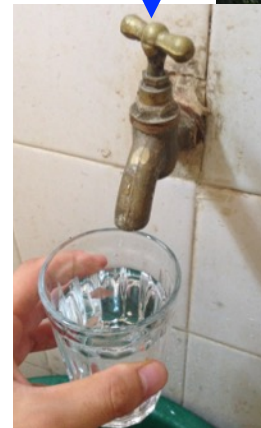
## 我が家の水事情

私の家の横には貯水タンクがあり、ここにポンプを使って水を貯めています。このタンクからの水圧を使って家の中まで水を送り届けてくれます。（物理の授業で位置エネルギーの説明に使っています）しかし停電時などは水の補填がされないため、水の使用を控えたりと工夫しています。また、海外に行く際は水道の水は飲まないようにすべきとよく言われますよね？ウガンダでも勿論避けるべき事態で、**最低でも煮沸**、不純物が見られる場合は**一旦濾過した後に煮沸**して飲むことを心がけています。私の家の水は不純物が見られ無いことから、煮沸したものを飲むようにしています。家の中に水道のタップがある、そしてその水が濁っていないというのは隊員の中でも少数です。近くの

水汲み場まで汲みに行く必要があったり、タップがあっても飲み水としては用いれないということがあります。往復30分以上の道のりを水汲みして歩いている隊員もおり、訪問した際にお手伝いさせていただきましたが、かなりの重労働でした...

ちゃんと  
透き通っています！

^-^



子供達がいたずらで貯水タンクの元栓を閉めてしまい、断水と勘違いすることも(笑)

## たまには優雅に(?) ドラム缶風呂！

水は節約して大切に使うことを心がけています。有事の際に備えて、ジェリー缶と呼ばれる容器に水を入れて保存もしています。（下の写真参照）けれど、**たまには贅沢にドラム缶風呂に入っています！**ナムトゥンバタウンで購入したドラム缶を、積み上げたレンガの上に設置して、水を約80L入れて温めるだけ！こちらでは基本的に桶に貯めた水で体を洗うことしかしないため、お湯に浸かると心身共に温まります！笑ウガンダではお風呂という習慣がないので、周りからは不思議な目で見られます...（お湯に火を焼べるなんて、料理でしか見ない光景の上、その中に入るなんて拷問に思えるようです）試しに近所の子を入れてみたら、35℃程度のお湯でも「熱い！」と言ってすぐに上がっていました。お風呂に入る習慣はあまり理解してもらえないようです。





写真左：学校の雨水タンク。学校の教室の横に大きな雨水タンクが設置されており、学校の生徒達のみならず、学内に住む教員・その家族なども利用しています。右下の写真のように子供達が自分で運べるサイズの小さな容器を持って水汲みと運搬を行うこともあります。多い時は1日に10往復以上もすることがあるそうです。

写真下：同任地の隊員の近くにある井戸から水汲み。公衆の井戸であるため、自分の他にも水汲みの順番待ちで列ができていました。ナムトゥンバのタウンの中には特大の汲み上げタンクがあり、そこから水道が通っていますが、タウンから少し外れると大抵はこうした井戸を使っています。井戸の維持管理に関してボランティアが入っている地域がありますが、壊れた井戸を治すお金が集まらず放置されていたりと、コミュニティの問題が大きいようです。



この黄色い服はファッションではなく「囚人」の証。評価の高い囚人は外出して労働することが可能になります。今回は近所の人に雇われて水汲みに来たらしい。



## ウガンダのお金について

ウガンダのお金は右写真のように6種類の紙幣(五万、二万、一万、五千、二千、千)と、5種類の硬貨(千、五百、二百、百、五十)が使われています。単位はウガンダシリング(Ush)が用いられ、1円が約33Ushです。(2016年9月現在)ここで、お金についてここにきて驚いたことを挙げたいと思います。



その①大きなお金20000、50000シリング札が使えるのは大都市のみ！地方だとお釣りが十分に無かったりするため、断られることもあります。または、お釣りに行った店員を数十分待つことになるかも... ちなみに硬貨の50シリングは使用用途がほとんどないため、受け取りを拒否されることがあります。(2枚で100シリングと言っても受け取ってくれませんでした)

その②：お金はそのままポケットに入れる。こちらの人は大抵お財布を持っていません。そのため、紙幣や硬貨はそのままポケットに。結果お札はドンドン汚れて皺だらけに。硬貨も擦り切れてツルツルになったものをよく見かけます。ものだけでなくお金も大事に扱う人は少ないようです...



ウガンダにおける水事情、家庭や地域などによって様々ですが、改めて日本の水道の素晴らしさを感じることができます。蛇口をひねれば安全な水がほぼいつでも手に入ります。なんてウガンダから見たら驚くべきことです！笑 生きる上では欠かせない水、だからこそ色々トラブルも起こるようです。井戸やお金などの様子を見ると、他人との共用のものだから、丁寧に使う、次の人が使いやすいようにするという基本的なことを行っていない人が結構多いと感じます。こうしたことを当たり前に行える人が増えていけるよう、自分も学校の指導の中に取り入れていきたいと思っています。

平成27年度1次隊 理科教育 小野健太